

令和7年度「国際原子力人材育成イニシアティブ事業」
「リサイクルの視点をもつ戦略的な廃止措置マネージメント人材育成」
受講生募集のお知らせ
<https://hairo.net/>

1. 研修の目的

原子力発電所の廃止措置においては、廃棄物を戦略的に取り扱うことが重要な視点です。特に、廃止措置中の原子力発電所は、基本的に廃棄物の塊であり、適切な分類を行い、リサイクルや処分を進めていくことが必須です。廃止措置にも「リサイクル」の概念を積極的に取り入れていくことが望されます。このためには、廃止措置をプロジェクトとしてとらえ、プロジェクトマネジメントのスキルを持つとともに、リサイクルの視点を持つ、人材が必要になります。

これらの背景を踏まえ、戦略的な観点を持って原子力施設の廃止措置を推進していくスキルを持つ人材、すなわち、廃止措置に係る技術的な側面に加え、プロジェクトマネジメントの視点をもつ人材を育成していきます。原子力分野だけではなく、経営学や社会科学など、様々な背景の学生を募集します。プロジェクトマネジメントについての知識を身につける事で、廃止措置だけではなく、様々な分野への応用も可能です。

なお、研修は、座学としてのオンライン研修、合宿形式の現地実習、海外施設の視察と討論を行う海外研修の3つの内容で実施します。海外研修は、オンライン研修と現地実習参加者の中から、選抜します。

2. 研修日時

- ①オンライン研修： 令和7年6月7日(土), 14日(土), 21日(土) (zoom)
- ②現地実習： 令和7年9月7日(日)～9日(火) (敦賀発電所)
- ③海外研修： 令和7年10～11月 (約1週間・日程調整中)
(スウェーデン・Cyclife 処理施設、Studsvik 処理施設等(予定))

3. 研修費用等

研修に要する費用(研修費、宿泊費、交通費(居住地区から国内外の研修場所までの交通費))については、東京大学の規定に従い研修主催者(東京大学)が負担します。海外研修も同様です。

4. 申し込み方法

令和7年5月23日(必着)までに、必要事項記載のうえ電子メールで申し込みください。

(1) 申込書に記載する事項

- ① 氏名(漢字、読み仮名、英字表記)
- ② 生年月日、年齢、性別
- ③ 所属(学校名、学部学科名、学年)/(会社、部署、役職)
- ④ 現住所 連絡先 (Eメールアドレス、電話番号)
- ⑤ 講義・実習 / 国内現場研修 の参加・不参加
- ⑥ 海外廃止措置研修の希望の有無

(2) 申込先

inoue@tokai.t.u-tokyo.ac.jp 東京大学原子力専攻 井上宛て

令和7年度「国際原子力人材育成イニシアティブ事業」
「リサイクルの視点をもつ戦略的な廃止措置マネージメント人材育成」
受講生募集のお知らせ
<https://hairo.net/>

5. 研修生の募集

本研修では、国内の大学で理学又は工学若しくは経済学、経営学*など社会科学を学ぶ大学の学部生及び大学院生（修士、博士共）並びに高等専門学校生であって、下記に示すような原子力施設の廃止措置に興味を持っている人を募集します。

- 原子力分野において単なる技術者ではなく、事業の全体を統括していく専門家として活躍していきたいと考えている人
- 長期にわたる大きなプロジェクトの立案、運営及び管理を行いたいと考えている人
- 廃止措置プロジェクトを通して原子力利用と社会との関わりを強固にしていきたいと考えている人
- 国際的な動向を把握し、海外の専門家と協働していくことを望んでいる人

* 理工系に加え、経済学、経営学などの社会科学を専攻する学生、院生を対象とします。

これは、効果的かつ効率的で、さらに社会受容性の下で廃止措置を遂行していくには、原子力工学だけではない理工系とは異なる視点、すなわち、社会科学の視点での運営管理も必要であるからです。このような人材が廃止措置に参加することにより、これまでにない廃止措置の推進が実現されることが期待されます。

なお、原子力、放射線工学に関わる学習の経験がない、または、原子力施設の廃止措置を理解するための知識が足りないと判断する学生、院生に対して、廃止措置の理解に必要な原子力、放射線工学の基礎を学ぶための講座を実施します。この講座は、通信教育の方式で実施するとともに、オンラインによる講義も実施します。

本基礎講座については申し込み後に改めてご連絡します。放射線など全くわからないという方も、全く問題なく、参加できます。

6. 問合せ先

東京大学 原子力専攻 教授 岡本孝司 (okamoto@n.t.u-tokyo.ac.jp)

令和7年度「国際原子力人材育成イニシアティブ事業」
「リサイクルの視点をもつ戦略的な廃止措置マネージメント人材育成」
受講生募集のお知らせ
<https://hairo.net/>

7. 研修の概要

① 戦略的観点を持つ廃止措置ゼネラリストの育成のための講義と実習(15名)

廃止措置全般にわたる知識及び戦略の構築並びにプロジェクト管理の習得を目的として、次の講義及び実習を実施します。なお、講義及び実習はオンラインで実施します。

- i. 廃止措置で必要な技術(対象施設の特性評価、除染技術、解体技術、安全管理、費用評価)に係ること
- ii. 戦略の構築に必須の3項目(特徴分析、環境分析、リソース分析)に係ること
- iii. 状況の変化に対応するスキル(グレーデッドアプローチの適用)に係ること

講義及び実習のスケジュールは下表の通りを予定しています。

	1日目 6月7日(土)	2日目 6月14日(土)	3日目 6月21日(土)
	i.廃止措置と廃棄物のリサイクル	ii.廃止措置と廃棄物の社会の関わり	iii.戦略的視点を持つプロジェクトマネージメント
9:00-10:30	廃止措置の基本知識	廃止措置に対する社会のイメージ	廃止措置のプロジェクト管理
10:40-12:00	廃止措置の基本安全	廃棄物に対する社会のイメージ	廃棄物処理処分のプロジェクト管理
12:00-13:00			
13:00-14:30	廃止措置で発生する廃棄物	廃止措置と廃棄物に関わる安全と安心	グレードアプローチの適用
14:40-16:00	廃棄物のリサイクル・処理処分	ステークホルダーとの良好関係の構築	廃止措置と廃棄物のリサイクル、処理処分の戦略
16:10-17:30	廃止措置と廃棄物のリサイクル・処理処分の課題		

② 廃止措置の国内実施状況視察(現場実習)(15名)

廃止措置とはどういうものであるかを実感するためには、“廃止措置の現場”を体験することが最も効果的です。本課題においても原子力発電所、核燃料サイクル施設などの廃止措置実施状況の現地視察を計画しています。また合宿形式での学習を行います。

③ 海外の廃止措置状況視察及び現地技術者との議論及び情報交換(海外研修)(6名)

先行する海外の廃止措置の状況を視察し、良好事例を吸収するために海外の廃止措置実施施設を訪問し、視察並びに廃止措置の戦略に係る事項についての議論及び情報交換を実施する。国内視察と同様、現場の体験は知識をスキルに変えていくものとして最も高い効果が期待できます。この効果をより高めるために、現地を体験する海外研修に先立ち、現地技術者との議論のテーマ選定及び情報交換のための資料作成を行う実習を実施します。海外研修の参加者は、参加希望者の中からオンライン研修・現場実習で研修生に取り組んでいただく課題及び受講状況などから判断し、選抜します。

なお、現場実習・海外研修は現地を訪問して視察することを前提としますが、状況により現地訪問が難しい場合には、オンラインによる視察及び議論を実施します。